

R-ネット瓦版 第1号

..... 巻頭言

皆様におかれましては日頃より広島市立安佐市民病院の診療に関して格別なるご支援ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。当院では地域の患者様へより良質な医療を提供するため、日夜努力いたしておりますが、昨今の医療情勢の急速な変化のため、総合病院といえども地域連携を強化しなくては病院の円滑な診療業務が困難な状況になってまいりました。広島市立安佐市民病院では従来より、地域に根ざした医療を目指して、病診連携に努めてまいりましたが、この度、より緊密な【お互いに顔の見える医療連携】の確立を目指してR ネットを立ち上げました。この『R ネット瓦版』は医療連携に必要な情報伝達の一方法として皆様にお送りするものです。ご多忙の中恐れ入りますが、ご一読頂き、ご意見をお寄せいただければ、より良い医療連携の構築に役立つのではないかと思考しております。末尾では御座いますが皆様方のご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

広島市立安佐市民病院 院長 日高 徹

R-ネットとは？

当院では、日頃よりご支援いただいております医療施設の皆様との医療連携をより緊密にしたいと考えております。その方法の一つとして当院の医療連携室より FAX（又は封書）を用いて情報提供を行うことを計画いたしました。このシステムを『R ネット』と命名いたしました。R の由来は「連携」です。本来医療連携はそれぞれのスタッフの顔が見えるのが理想ですが、地理的条件や多忙などのため、なかなかそうは行かないのが現実です。この『R ネット』はお互いの理解を深める目的で構築されたものです。過日皆様にご協力戴きましたアンケート調査結果を基に、皆様のご希望の多かった当院の情報を出来るだけ多く発信いたしますので、ご利用いただければ幸甚です。また、御意見等を返信いただければいっそう良い連携に役立つものと考えております。ご協力ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

この瓦版の内容は R ネット検討ワー

キンググループの 13 名がボランティアでデータの収集、整理を行い作成しております。特別な予算はありませんので経費を掛けないよう作成発信いたしました。当初は2カ月に1度のペースで発信することが目標ですが、この第1号の製作にも随分苦労しましたので、一層頑張らなくてはと思っています。何卒ご一読のほどお願い申し上げます。

各診療科のご紹介シリーズ第1回

《 外科 》

当院外科は岩森名誉院長によって設立され、以来「最良の医療を誠意を持って患者様に提供する」を基本理念に、各種がんの診療と救急外科診療を2本柱に発展してきました。手術件数は年々増加し昨年度は1000件を超えました。また、乳癌、胃癌、大腸癌、肺癌などの化学療法も増加し、この分野でも最新の治療を提供すべく努力しております。当外科の紹介率は85%、逆紹介率は190%（H19年4月）で、患者は広島市北部を中心に広島県北西部、島根県南西部などから紹介され来院されています。

外科医師の配置は現在 13 名(レジデント 5 名を含む)です。

外科スタッフ紹介(役職)

多幾山 涉 (副院長); 食道癌を中心に消化器外科を担当しています。管理職との 2 足のワラジで忙しい毎日です。**平林直樹** (主任部長); 胃癌と腹腔鏡手術を担当しています。毎年高齢化する外科スタッフをまとめるのに苦労しています。**久松和史** (部長); 乳腺と甲状腺を担当しています。外来は女性患者で溢れそうです。**山下芳典** (部長); 肺癌を中心に呼吸器外科を担当しています。栄養にも熱心でNSTのリーダーです。**向田秀則** (部長); 食道外科と呼吸器外科を担当しています。**佐伯修二** (部長); 肝・胆・膵外科を担当しています。PEG造設も行っています。**佐藤幸雄** (部長); 大腸・肛門外科を担当しています。**坂部龍太郎** (医師); 今年度からスタッフに加わりました。何でも貪欲に取り組んでいます。

外科レジデント紹介

吉山知幸、小林美恵、徳永真和、清水誠一、日野佑美 の 5 名で外科研修に多忙な毎日を送っています。

平成 18 年度の主要疾患別手術症例数

食道癌	胃癌	大腸癌	胆石	膵・胆癌
18	78	143	120	24
肝癌	乳癌	肺癌	気胸	甲状腺癌
10	85	76	87	9

セカンドオピニオンについて

消化器癌、呼吸器癌、乳腺・甲状腺癌に付き通常の診療と同じ要領にて行っておりますので、ご相談ください。

外科外来

外来は毎日 3 診体制で、外来診療一覧表のように行っています。紹介する医師がわからないときは 1 診の医師宛てに医療連携室を通して紹介してください。

外科外来診療一覧表

	月	火	水	木	金
1診	多幾山	平林	多幾山	向田	山下
2診	向田	佐伯	佐伯	佐藤	平林
3診	久松	坂部	久松	久松	佐藤

医療連携室から

医療連携システム利用状況

依頼内容	件数	
	H19年5月	H18年度
CT	101	1029
X線	3	35
MRI	26	289
内視鏡(胃)	43	314
その他IC-等	20	156
外来予約	770	7,666
総計	963	9,531
1日平均予約数	46	39

連携システムの利用も年々増加し、FAXによる事前予約が定着してきました。今後も地域の中核病院として、地域の医療機関との連携をより一層充実させて行きたいと考えております。ご意見・要望等ありましたら連携室までご一報ください。

連携室からのお願い

- 1) 平日診療時間帯の救急患者紹介については紹介診療科の医師に直接連絡をお願いいたします。連絡後は恐れ入りますがFAX情報を医療連携室へ送ってください。その際は診療科と紹介医師名の記入をお願いいたします。当院には救急患者を専門的に診療する救急診療科がありませんので、迅速な対応が必要な場合、必ず紹介先の診療科を決めて、その科の医師に直接ご連絡くださるようお願い申し上げます。
- 2) 入院・転院に関しましては各診療科医師へご連絡ください。

平成 19 年 5 月の病床利用状況

科別	新入院 患者数	退院 患者数	平均在 院日数	利用率	
内科	循環器科	79	91	10.8	-
	消化器科	124	110	12.5	-
	内分泌科	12	12	11.8	-
	呼吸器科	54	47	21.3	-
	血液内科	17	19	40.8	-
	神経内科	18	22	15.4	-
	内科合計	304	301	15.3	114.2
外科	111	114	16.2	98.1	
整形外科	95	92	19.8	138.6	
脳神経外科	43	37	25.0	107.5	
心臓血管外科	33	35	27.4	120.3	
小児科	65	58	7.4	73.7	
産婦人科	123	130	9.9	108.5	
皮膚科	16	18	16.1	441.9	
泌尿器科	46	44	9.3	112.4	
耳鼻咽喉科	19	22	18.6	102.7	
眼科	42	33	9.8	99.2	
神経科	6	14	26.3	20.2	
放射線科	8	8	35.6	23.6	
麻酔科	17	11	8.6	19.5	
リハビリ科	1	1	67.0	10.8	
合計	929	918	15.3	86.4	

地域連携パス

地域連携パスは患者様への情報提供、連携施設間の診療情報共有など地域医療の質向上と効率化を進める方法として広がりつつあり、患者様が安心して医療を提供するうえで最も効果的なツールだと言われています。当院でも安佐医師会と共に地域連携パス準備小委員会・ワーキンググループを立ち上げ作成に到りました。

【地域連携パスの種類】

大腿骨頸部骨折地域連携パス：加算が取れます。真鍋英喜（整形外科主任部長）をチーフとするワーキンググループが作成。連携医療機関はメディカルパーク野村病院・高陽中央病院・長久堂野村病院・原田整形外科病院・新谷整形外科医院です。

消化器がん（大腸がん術後・胃がん術後）地域連携パス：平林直樹（外科主任部長）をチーフとするワーキンググループが作成。連携医療機関は安佐医師会に所属している医療機関です。

ラクナ梗塞（脳梗塞）地域連携パス：黒川勝巳（神経内科部長）をチーフとするワーキンググループが作成。連携医療機関は広島共立病院・日比野病院です。

上記は現在使用している連携パスです。今後は糖尿病などのパスも作成を検討しています。

————— 編集室より —————

当院に対する診療上の苦情、要望、質問あるいは『R ネット瓦版』に対するご質問、ご要望、ご意見等が御座いましたら恐れ入りますが医療連携室まで FAX 等にてご連絡ください。

広島市立安佐市民病院
医療連携室
TEL 082-815-5211(内線 3250)
FAX 082-815-5691

『R ネット瓦版』編集WG
代表 多幾山 渉